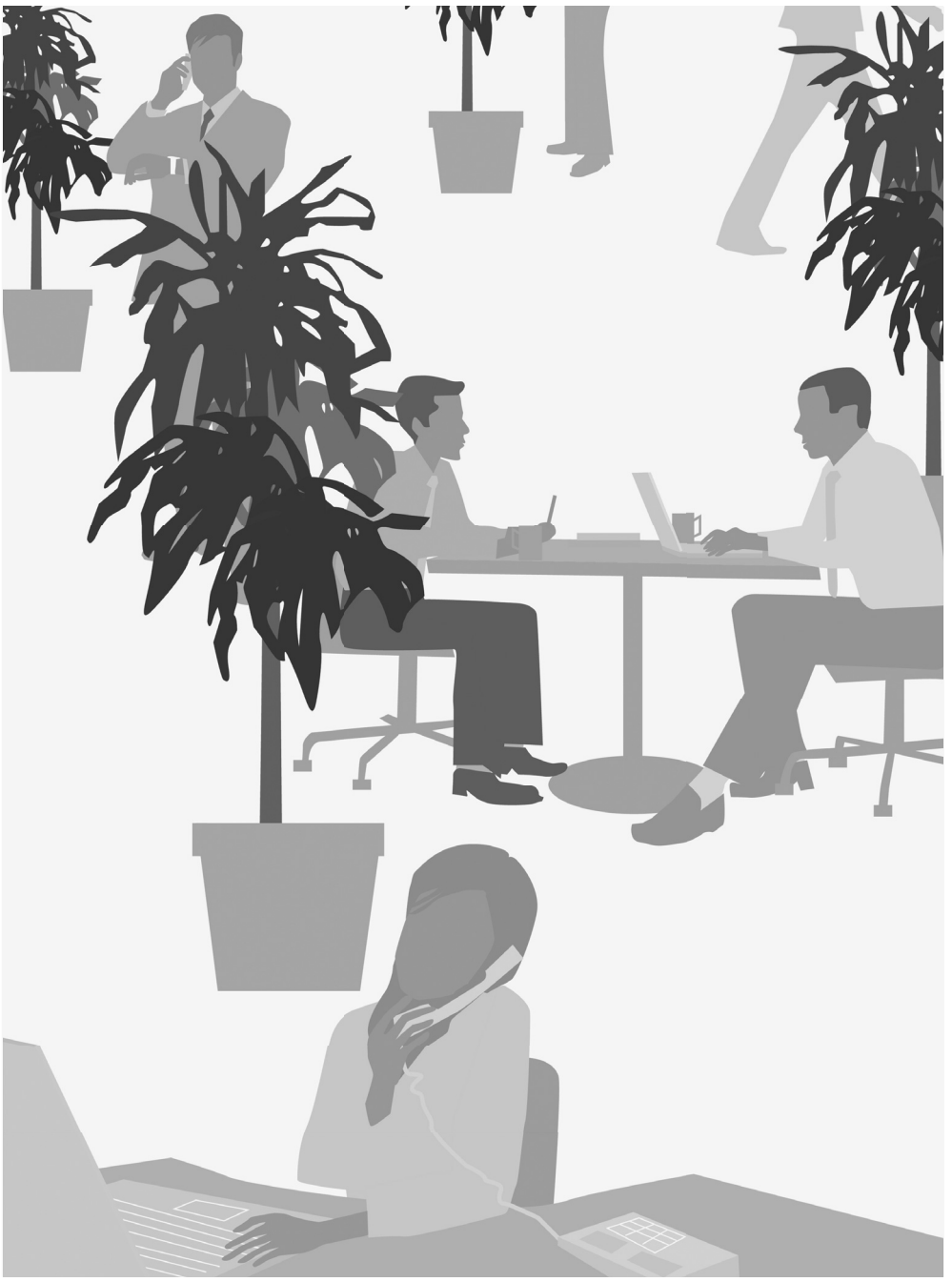
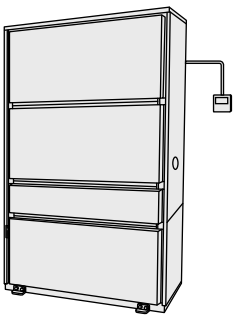
Panasonic

取扱説明書

パッケージエアコン<ビル用システムマルチ>





室内ユニット

壁ビルトイン形
（CS-W4U, WN4U シリーズ）
品番
CS-P140W4U
CS-P224W4U
CS-P280W4U
CS-P140WN4U
CS-P224WN4U
CS-P280WN4U

室外ユニット

標準ビル用マルチ UX シリーズ
（CU-UX3, UX4 シリーズ）
高効率ビル用マルチ UXP シリーズ
（CU-UXP3 シリーズ）
既設配管対応ビル用マルチ UXR シリーズ
（CU-UXR3（N）シリーズ）
氷蓄熱ビル用マルチ UK シリーズ
（CU-UK3 シリーズ）
冷暖フリービル用マルチ UXE シリーズ
（CU-UXE3 シリーズ）

保証書・据付工事説明書 別添付

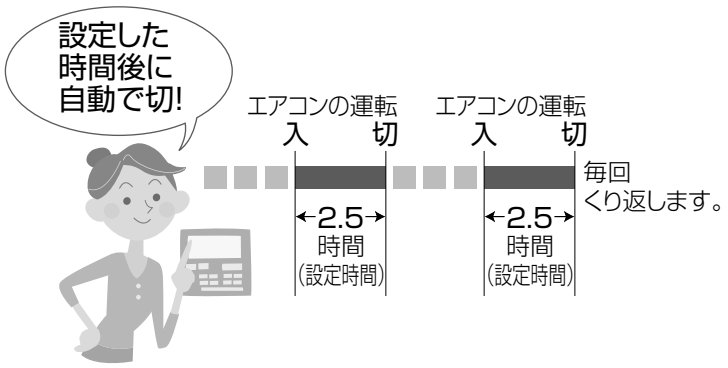
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●本書はワイヤードリモコンをお買い上げいただいた場合の取扱説明書です。
　ワイヤレスリモコンをお買い上げの場合は、ワイヤレスリモコンの取扱説明書もあわせてお読みください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（4, 5 ページ）を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、据付工事説明書とともに大切に保管してください。
●室外ユニットの品番は、仕様（27 ページ）でご確認ください。

フロン回収・破壊法　第一種特定製品	
フロンの見える化	1）この製品は、地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。 2）本ユニットには、二酸化炭素＊＊ kg に相当するフロン類が使用されています。 3）上記 2）の数値（＊＊）は、本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長等により異なります。システム全体での数値は、室外ユニットのサービスパネル裏面の記入欄に記載されています。 室内ユニットについては、銘板あるいはラベル（電装ボックス）に記載されています。

便利な機能でムダなく運転！

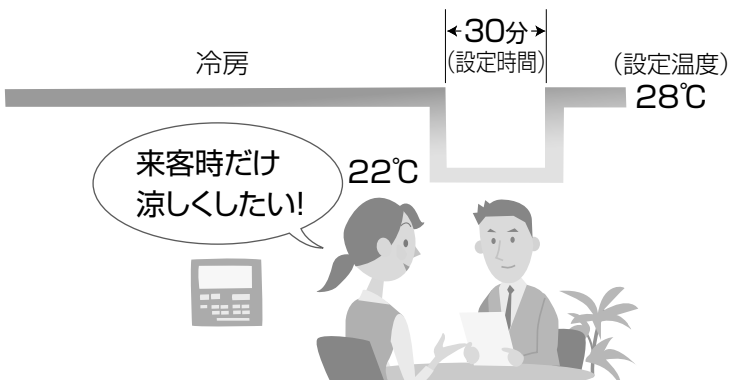
切り忘れ防止に便利！

くり返し切タイマー（P.10）



必要なとき以外は節約を！

設定温度自動リターン機能（P.11）



ご使用の前にご確認ください

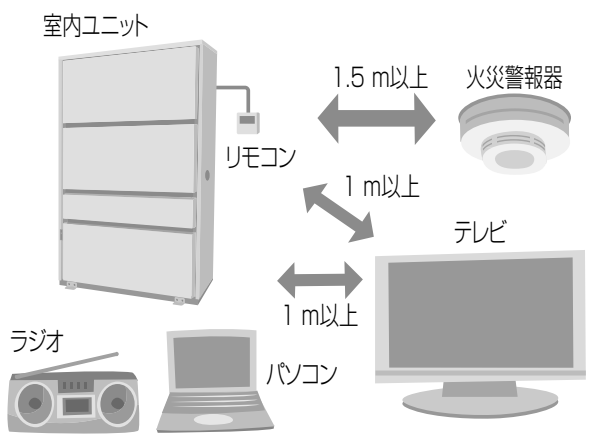
■テレビやラジオ、パソコンなどは、室内ユニットやリモコンから 1 m以上離す
（映像の乱れや雑音が入るおそれ）

■火災警報器は、吹出口から 1.5 m以上離す

■室外ユニットの吹出口や吸込口の近くに障害物を置かない
（機能低下や騒音の原因）

■降雪地帯では、室外ユニットに雪よけの屋根や囲いなどを取り付ける
→詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■次のような場所での使用は避ける
- 可燃性ガスの漏れるおそれがある。
- 海浜地区など、塩分が多い。
- 温泉地帯など、硫黄ガスが発生する。
- 水や油（機械油含む）の飛散や蒸気が多い。
- 電圧変動が大きい。
- 電磁波を発生する機械がある。
- 有機溶剤が飛散する。



例：エアコンの運転を開始した後、設定した時間（2.5 時間）が過ぎると自動で運転を停止します。再度、運転を開始した場合も同様に、設定時間後には運転を停止します。

例：来客時、22℃に温度を変更しても、設定した時間（30 分）を過ぎると設定温度（28℃）に自動で戻ります。

もくじ

ページ

●ご使用の前にご確認ください … 2
●安全上のご注意 …… 4
●各部の名前 …… 6

●運転のしかた …… 9
冷暖自動・暖房・冷房・送風
●便利な機能 ……10
タイマー運転 /
設定温度自動リターン機能

●お手入れのしかた ……12
日常のお手入れ /
シーズンの終わり /
シーズンの始まり

保守点検をされるかたへ ・・・・13
保守点検安全上のご注意 /
自然気化式加湿器の保守点検について
●故障かな？ ……24
●運転のしくみ ……25
●仕　様 ……26
●保証とアフターサービス ……28
●ご確認ください ……裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	⚠ **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容（禁止事項）です。	❗ 実行しなければならない内容（強制事項）です。

⚠ 警告

火災や感電、けがを防ぐために

❗ 必ずエアコン専用の電源を使う

必ず守る

（他の機器と併用すると、発熱による火災の原因）

❗ 別売品は必ず当社指定の製品を！

必ず守る

（水漏れや感電・火災の原因）
別売品の取り付けは、専門業者に依頼してください。

⃠ お手入れ時には

禁止

- お客様自身で、内部の洗浄はしない。
（水漏れや発煙・発火の原因）

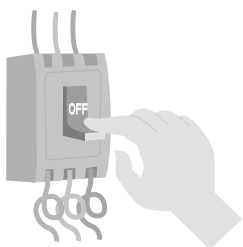
異常・故障時には直ちに使用を中止し、漏電しゃ断器を切る

（発煙・発火、感電の原因）

必ず守る

異常・故障例

- スイッチを入れても運転しない。
- 運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音がする。
- ブレーカーがたびたび切れる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。



すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

❗ 据え付けや移動・修理は

必ず守る

- 必ず販売店または専門業者に依頼する。
（水漏れや感電・火災の原因）

❗ 据え付けや移動・修理完了時には、販売店や専門業者に次のことを確認する

必ず守る

- 冷媒が漏れていないこと。
（冷媒が火気に触れると有毒ガス発生の原因）
通常使用では漏れませんが、冷えない・暖まらない場合は、漏れている可能性があるため、販売店へご相談ください。
- 指定冷媒を使用していること。
（指定以外の冷媒を使用すると、機器の故障や破裂、けがなどの原因）
- アースと漏電しゃ断器が設置されていること。（感電の原因）
- 小部屋などに据え付けられている場合は、開口部や換気扇が取り付けられていること。（冷媒が漏れて限界濃度を超えると酸欠事故の原因）

⃠ 冷媒が漏れているおそれのあるときは

禁止

- ファンヒーターやストーブ・コンロなどの燃焼器具を使用しない。
（冷媒が火気に触れると有毒ガス発生の原因）

部屋の換気を行い、販売店に点検を依頼してください。

漏電や、けがを防ぎ
財産を守るために

冷やし過ぎ（暖め過ぎ）ない

禁止

●長時間、冷風（温風）を体に直接当てない・冷やし過ぎ（暖め過ぎ）ない。
（体調の悪化・健康障害の原因）

本体やリモコンは

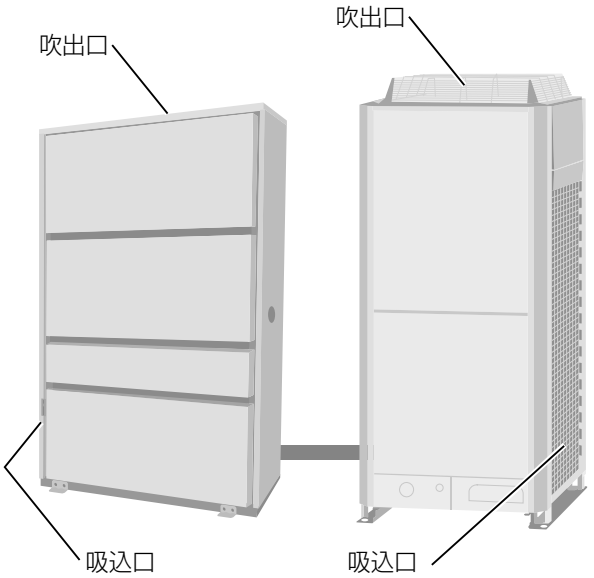
禁止

●ぬれた手で操作しない。
（感電や故障の原因）

室内・室外ユニットは

禁止

●吹出口に指や棒などを入れない。
（内部でファンが高速回転しているため、けがの原因）



※（アルミフィン / アルミ部分）

⚠注意

室内ユニットは

禁止

●室内ユニットの真下や近くに、他の電気製品や備品などを置かない。
（水漏れによる備品の汚損の原因）
●風を動植物に直接当てない。
（動植物に悪影響をおよぼす原因）
●可燃性スプレー（ヘアスプレーや殺虫剤など）を直接吹きかけない。エアコンの近くに置かない。
（発火の原因）
●他の目的に使用しない。
食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しない。（品質低下の原因）

リモコンは、絶対に分解しない

禁止

（感電や故障の原因）

室外ユニットは

禁止

●吸込口やアルミフィン※に触らない。
（けがの原因）
●上に乗ったり、物を載せたりしない。
（落下・転落によるけがの原因）
●室外ユニットの上に水の入った容器を置かない。
（漏電による感電や発火の原因）

ドレンは排水を確実にし、排水口をふさがない

禁止

（屋内に水漏れして、備品などの汚損の原因）

お手入れ時には

必ず守る

●必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切る。
（感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因）
●高所作業をするときは足場に気をつける。
（落下・転倒によるけがの原因）

禁止

●室内ユニットに洗剤スプレーや水をかけない。
（電気ショートにより感電や発火の原因）

燃焼器具といっしょに運転するときは

必ず守る

●こまめに換気する。
（酸素不足による頭痛などの原因）
●エアコンの風が直接当たらない場所で使用する。
（燃焼器具の不完全燃焼による酸欠の原因）

可燃性ガスの漏れるおそれがない場所に設置されていることを確認する

必ず守る

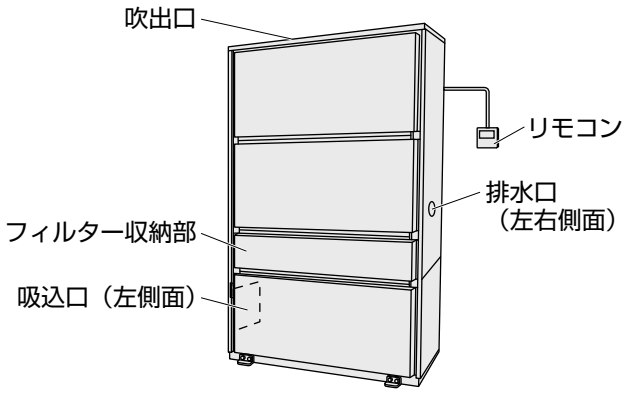
（ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因）

各部の名前

室内ユニット

■壁ビルトイン形

CS-W4U, WN4U シリーズ



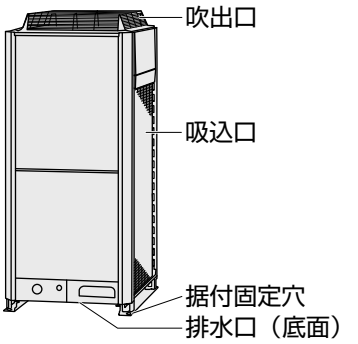
室外ユニット

■標準ビル用マルチ UX シリーズ

CU-UX3 シリーズ　8・10・12 馬力

■既設配管対応ビル用マルチ UXR シリーズ

CU-UXR3 (N) シリーズ　8・10・12 馬力



■標準ビル用マルチ UX シリーズ

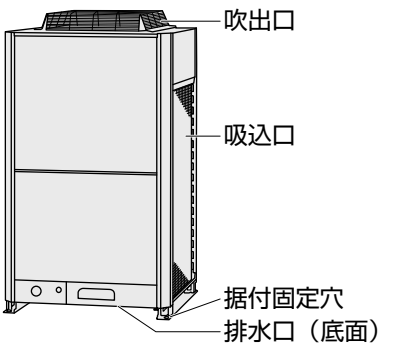
CU-UX3 シリーズ　14・16 馬力

■高効率ビル用マルチ UXP シリーズ

CU-UXP3 シリーズ　12 馬力

■既設配管対応ビル用マルチ UXR シリーズ

CU-UXR3 (N) シリーズ　14・16 馬力

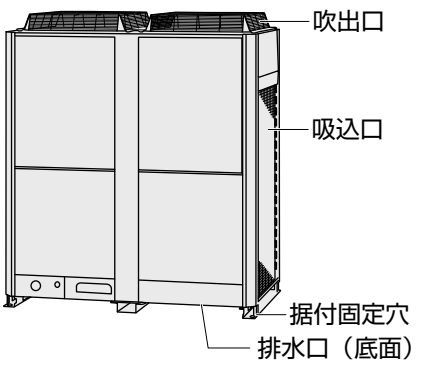


■標準ビル用マルチ UX シリーズ

CU-UX3 シリーズ　18・20 馬力

■高効率ビル用マルチ UXP シリーズ

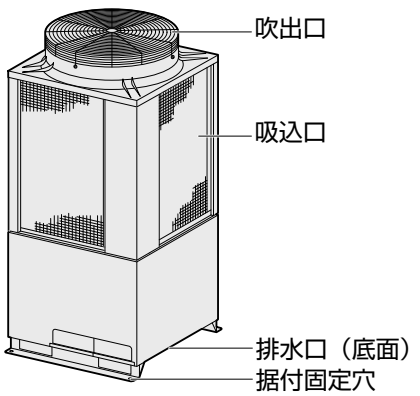
CU-UXP3 シリーズ　14・16 馬力



室外ユニット

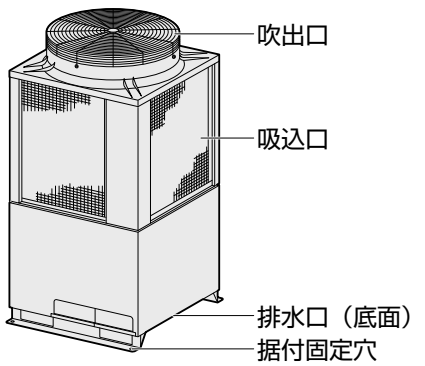
■ 氷蓄熱ビル用マルチ UK シリーズ

CU-UK3 シリーズ　8・10・12・14・16 馬力



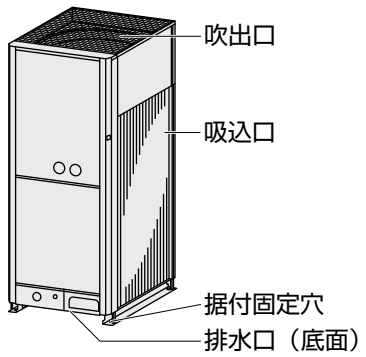
■ 冷暖フリービル用マルチ UXE シリーズ

CU-UXE3 シリーズ　8・10・12・14・16 馬力

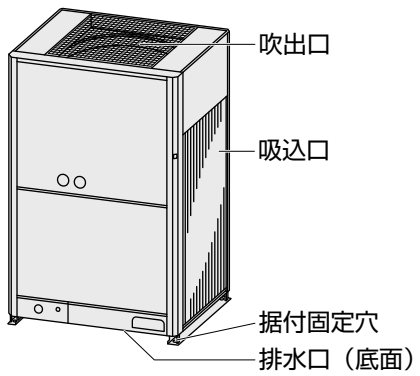


■ 標準ビル用マルチ UX シリーズ

CU-UX4 シリーズ　8・10 馬力



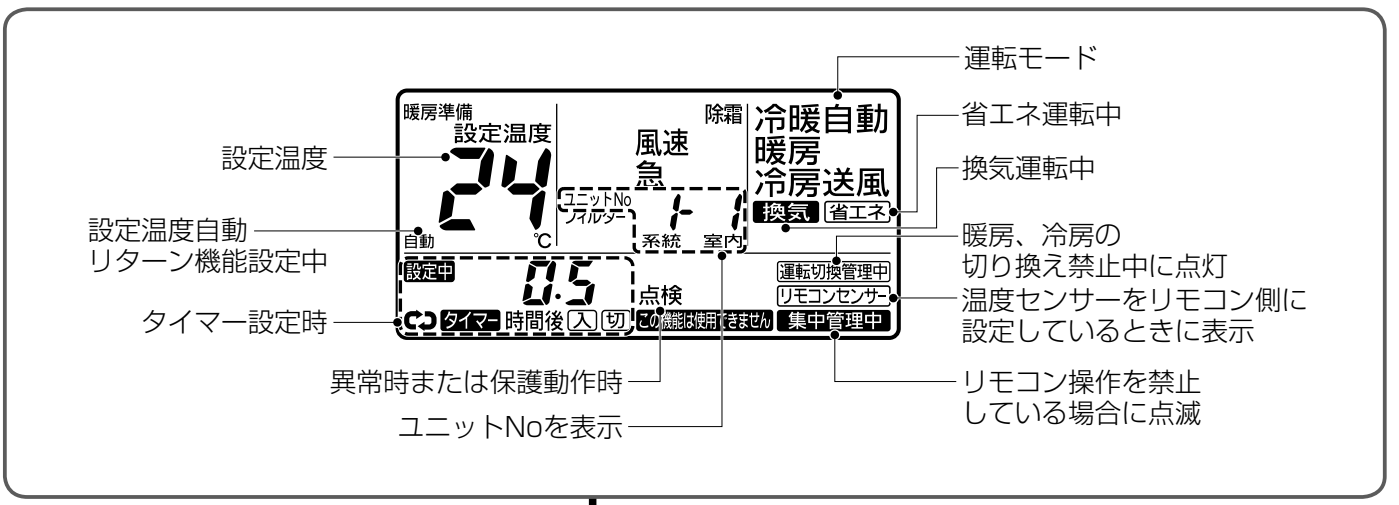
CU-UX4 シリーズ　12・14・16 馬力



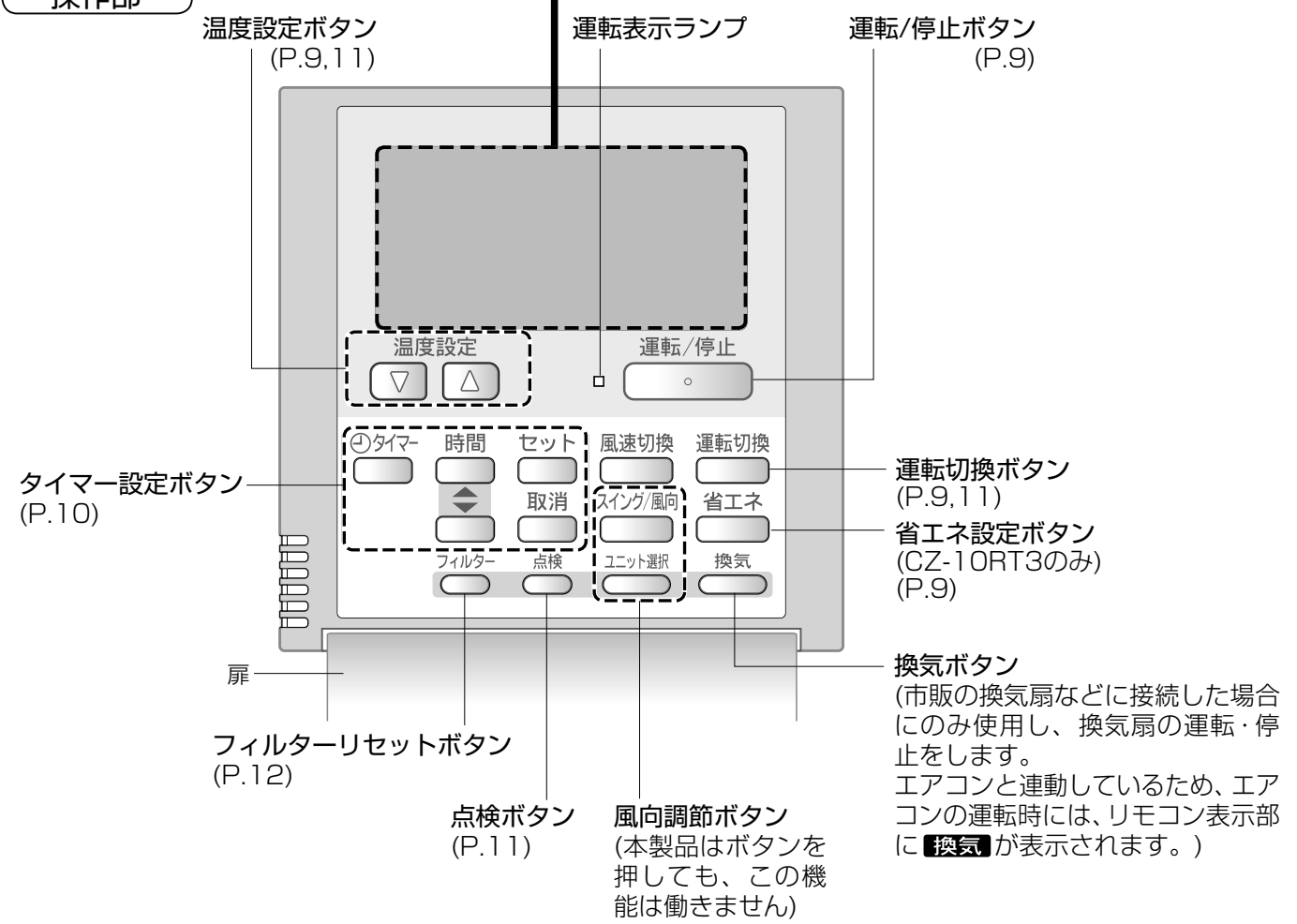
各部の名前（つづき）

ワイヤードリモコン（別売品：CZ-10RT3/10RT3A）

表示部



操作部

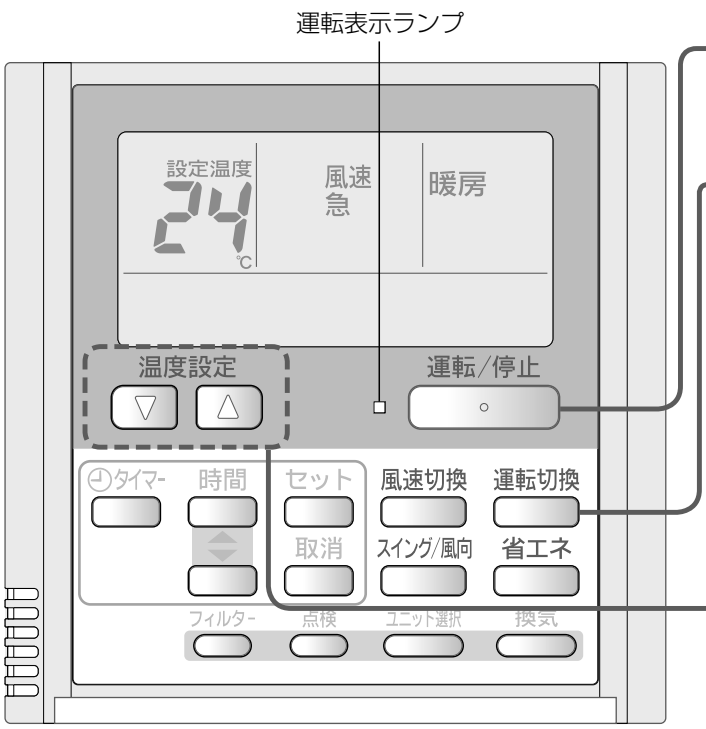


お知らせ

漏電しゃ断器を入れると、自動で機種確認を行っている間、リモコン表示部に 設定中 が点滅します。 設定中 が消えたあとに、リモコン操作をしてください。

運転のしかた 冷暖自動・暖房・冷房・送風

運転開始の 5 時間以上前に漏電しゃ断器（電源）を入れる。（本体保護のため）



1 運転/停止
○ を押す
（運転表示ランプ点灯）

2 運転切換
□ を押し、お好みの運転を選ぶ

冷暖自動 → 暖房 → 冷房 → 送風 …設定温度と室温の差を感知し、暖房または冷房を自動で選びます。（室内ユニットがグループ制御されている場合のみ）

3 温度設定
▽ △ を押し、お好みの温度にする

冷暖自動　：17℃～ 27℃
暖房　　：16℃～ 30℃
冷房　　：18℃～ 30℃

■ 止めるとき

運転/停止
○ を押す（運転表示ランプ消灯）

お知らせ

- 機種によって、運転開始から設定した風速になるまでに時間がかかることがあります。（P.25）
（吹出温度などの運転状況に応じて室内ユニットの風速は自動で切り替わり、リモコン表示とは異なる場合があります。）
- 設定温度は室内ユニットの吸込口付近の温度（目安）です。据付状態によって、室温とは多少異なります。
- 湿度の高い梅雨などに長期間運転をすると、露の滴下や、霧が吹き出すことがあります。
- 停電したときは、すべての運転が停止しますが、通電後 運転/停止 ○ を押すと、停電前の内容で運転を再開します。

■ 省エネ運転をしたいとき（CZ-10RT3 のみ）

運転中に
省エネ
□ を押す

- 最大電流値を制限した運転になるため、冷房や暖房などの能力は低下します。

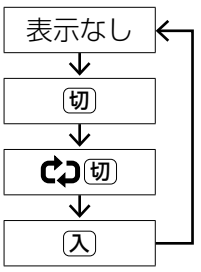
便利な機能

タイマー運転

タイマー切換について

タイマー

を押すごとに切り換わる



（図は切タイマー設定中の表示例）

タイマー設定時間について

時間

0.5 時間（30 分）単位（上限 72 時間）

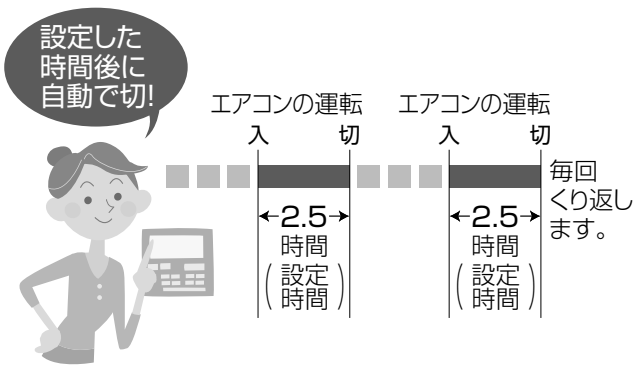
0.5 時間（30 分）単位（下限 0.5 時間）

■ タイマー運転を中止するとき→取消 を押す。

（タイマーの時間と表示が消える）

くり返し切タイマーの動作について

例：毎回 2.5 時間後に運転停止の設定をしたとき



切タイマー 切

設定した時間後に、エアコンを停止するとき
例：30 分後に運転を停止したいとき

1 運転中に タイマー を 1 回押す
（リモコン表示部に 切 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）

2 時間 を押し 0.5 を表示する

3 セット を押す
（設定中 が消え、タイマー時間が表示される）

くり返し切タイマー 切

毎回、設定した時間後に、エアコンを停止するとき
（消し忘れ防止のため）
例：毎回 2.5 時間後に運転を停止したいとき

1 運転中に タイマー を 2 回押す
（リモコン表示部に 切 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）

2 時間 を押し 2.5 を表示する

3 セット を押す
（設定中 が消え、タイマー 時間が表示される）

入タイマー 入

設定した時間後に、エアコンを運転するとき
例：8 時間後に運転を始めたいとき

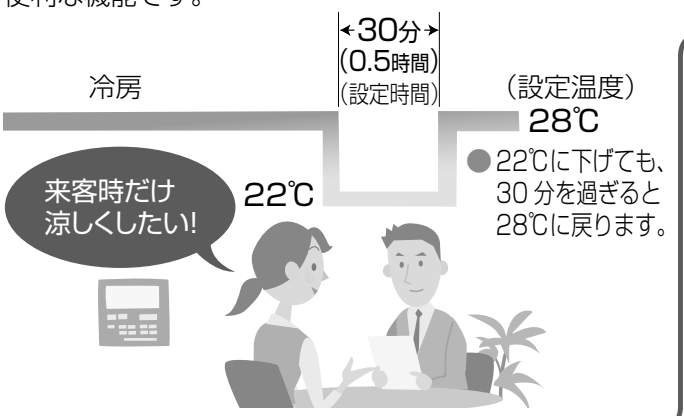
1 運転中に タイマー を 3 回押す
（リモコン表示部に 入 が表示され、設定中 とタイマー時間が点滅）

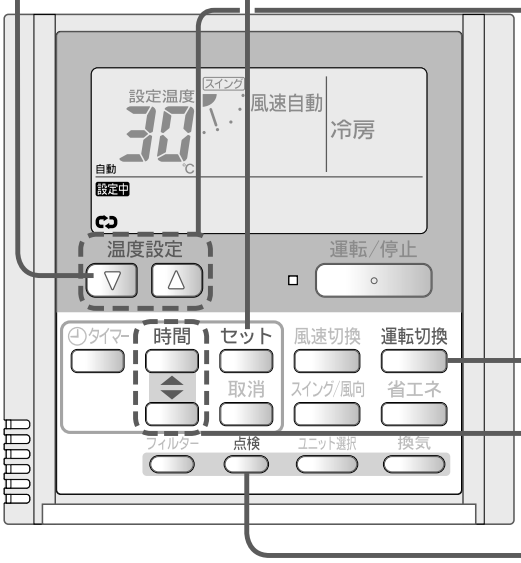
2 時間 を押し 8.0 を表示する

3 セット を押す
（設定中 が消え、タイマー時間が表示される）
※設定直後、運転は停止します。

設定温度自動リターン機能

来客時など、温度を下げても（または上げても）設定した時間が過ぎると、登録した設定温度に自動で戻る便利な機能です。





運転モード	設定温度範囲	設定時間範囲
冷房	18℃～30℃	0.5 時間（30 分）～ 2.0 時間（120 分）
暖房	16℃～30℃	
冷暖自動	17℃～27℃	

- 設定時間は、0.5 時間（30 分）単位、設定温度は、1℃単位。
- 設定できる内容は、リモコンの種類によって異なります。

■ 途中で操作を中止するとき→点検 を押す。

お知らせ

- **他の制御機器から設定温度を変更された場合**
  設定した時間を経過しても、設定した温度には戻りません。
- **停電が発生した場合**
  通電後 運転/停止 を押すと、設定した時間経過後に、設定した温度に戻ります。

■ 設定したい運転モード･設定温度･時間を登録する

例：30 分後に設定温度を自動で 28℃に戻したいとき

1 セット と 温度設定 ▽ を
同時に 4 秒以上、長押しする
（リモコン表示部の 自動 設定中 と運転モードが点滅）

2 運転切換 を押し、運転モードを選ぶ
（初期設定は「冷房」と「ドライ」が表示される）

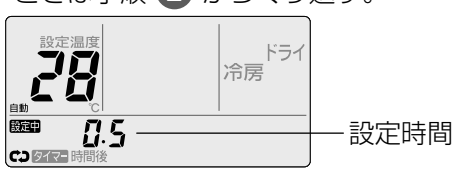
3 セット を押す
（運転モードが点灯し、自動 設定中 、設定温度とタイマー時間が点滅）

4 温度設定 ▽ △ を押し 28 を表示する

5 時間 を押し 0.5 を表示する

6 セット を押す
- 続けて他の運転モードの設定をするときは手順 2 からくり返す。

表示例



7 点検 を押す（登録完了）
（元の表示に戻り、自動 と が点灯）

- 以上の登録により、温度を下げても（または上げても）30 分後には自動で 28℃（設定温度）に戻ります。一度登録すると、解除するまで温度変更するたびに戻ります。

■ 設定温度自動リターン機能を解除するとき

上記手順 1 ～ 3 のあと

4 時間 を押し -.- を表示する

5 セット を押す（ -.- が点灯に変わる）

6 点検 を押す（解除完了）
（自動 設定中 とタイマー時間が消え、元の表示に戻る）

お手入れのしかた

⚠ 注意

必ず運転を停止し、漏電しゃ断器を切る。（感電や、ファンが高速回転しているため、けがの原因）

お願い

- 40℃以上のお湯を使わないでください。（変形・変色の原因）
- 揮発性のものなどは使わないでください。
  - ベンジン・シンナー・磨き粉などでふいたり、市販の液状殺虫剤などをかけない。（変形･変色の原因）

日常のお手入れ

■ロングライフフィルターは、ほこりを吸い取るか水洗いする

- 日陰で乾燥させてから、元どおりに取り付ける。（お買い上げの販売店にご相談ください。P.14）

■高性能フィルター（別売品）を交換する

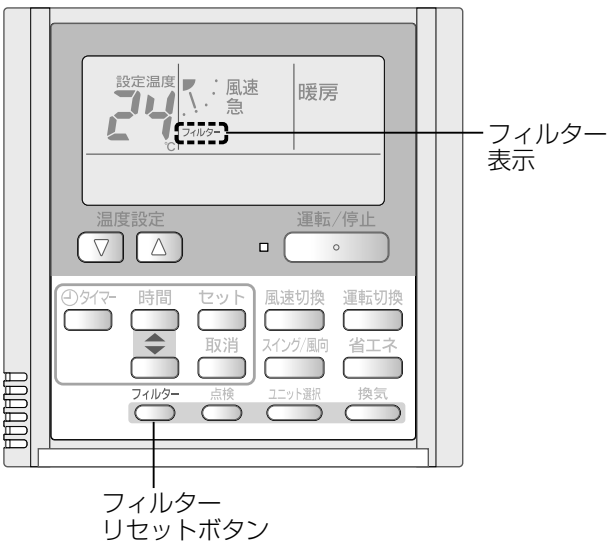
（お買い上げの販売店にご相談ください。P.14）

■室内ユニットは、柔らかい布でからぶきする

- 汚れがひどい場合は、布に水またはぬるま湯を含ませ、よくしぼってからふき、その後乾いた布でふく。

■フィルターなどのお手入れ時期は

“フィルター”が表示されたときを目安にしてください。
ほこりや油汚れの多い環境でご使用の場合は、表示に関係なく、こまめにお手入れしてください。
フィルターのお手入れをしない場合は、水漏れの原因になることがありますので、ご注意ください。



■お手入れの後は

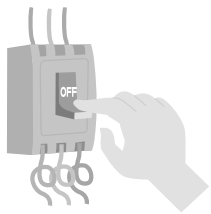
①フィルターを元どおりに取り付ける。
（取り付けは、取りはずしと逆の順に）
②リモコンのフィルターリセットボタンを押す。
（表示部の“フィルター”が消灯）

シーズンの終わり

1 晴れた日に、半日ほど送風運転をし、ユニット内部を乾燥させる（P.9）

2 運転停止を確認し、漏電しゃ断器を切る

- 電源が入ったままだと、電力を消費します。
- 電源が切れるとリモコン表示部の仕切り線が消えます。



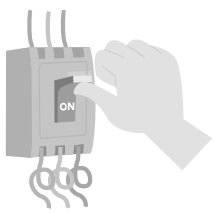
3 ロングライフフィルターを掃除する
（お買い上げの販売店にご相談ください。P.14）

シーズンの始まり

1 ロングライフフィルターを掃除する
（お買い上げの販売店にご相談ください。P.14）

2 漏電しゃ断器を入れる

- 必ず運転 5 時間以上前に入れてください。
- シーズン中は漏電しゃ断器を切らないでください。



自然気化式加湿器のお手入れ

自然気化式加湿器の定期的な巡回点検及びお手入れ、または長期間使用していなかったときの対応などは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

対象機種
CS-P140W4U
CS-P224W4U
CS-P280W4U

保守点検をされるかたへ

● 保守点検は、お客様自身で行わず、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

保守点検安全上のご注意

保守点検作業の前にこの「保守点検安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

●図記号の意味

「禁止」を表します。	必ず実行してほしい行為を表します。

保守点検上の注意事項

⚠ 警　告

冷媒が漏れたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して室内の換気を行い、お買いあげの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

部品交換を含む保守点検作業は、取扱説明書に従って正しく行ってください。

作業に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

塩素系漂白剤は絶対に使用しない

・加湿モジュールの洗浄に塩素系漂白剤は絶対に使用しないでください。
・洗浄剤の取扱いは、洗浄剤の容器に記載されている注意事項を必ず守ってください。

濡れた手でスイッチを操作しない

感電や故障の原因になります。

自然気化式加湿器は、誤った取り扱いをしない

水漏れや感電の原因になります。

改造は絶対にしない

改造すると水漏れや感電、火災等の原因になります。

⚠ 注　意

保守点検は必ず運転を停止して、漏電しゃ断器を切る

感電や、内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になることがあります。

ユニット内部の掃除を行うときは、必ず手袋（軍手等厚手のもの）をはめて行ってください。

素手で行うと見えないところで、けがをするおそれがあります。

室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。

ロングライフフィルター、高性能フィルターの保守点検

工具を使う作業は、お客様自身で行わず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

■ ロングライフフィルターの掃除

①はずしかた

パネルのネジをはずし、やや持ち上げぎみにしてパネルをはずします。
ロングライフフィルターのとってを手前に引いて、取り出します。

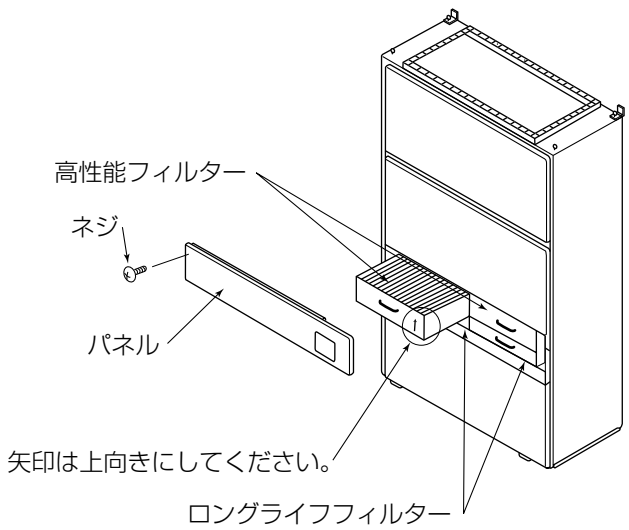
②掃除のしかた

ほこりは掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。水洗いしたときは日陰でよく乾かしてください。
その後、ロングライフフィルターとパネルをもとのように取り付けます。

■ 高性能フィルター（別売品）の交換

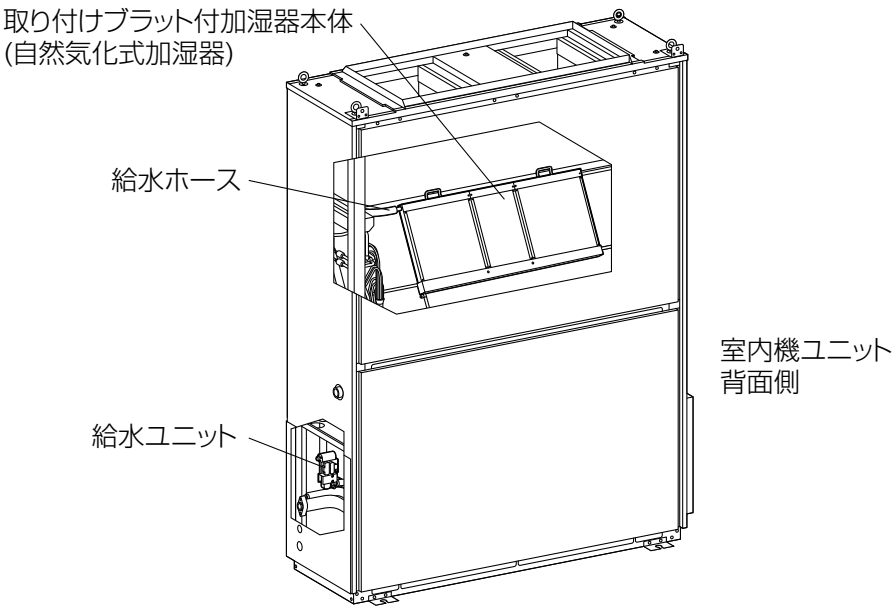
①パネルのネジをはずし、やや持ち上げぎみにしてパネルをはずします。
高性能フィルターのとってを手前に引いて、取り出します。

②新しい高性能フィルターと交換し、パネルを取り付けます。



フィルターの掃除と交換時期の目安については、「お手入れのしかた」（→ 12 ページ）をご覧ください。

自然気化式加湿器の保守点検について



⚠ 警告	禁止	**自然気化式加湿器は、誤った取り扱いをしない** 水漏れや感電の原因になります。

【設置時、暖房シーズンの始め、および 1 週間以上運転休止後の運転開始時】

●施工後にはじめて運転を開始する場合には、以下の手順で運転準備を行ってください。
①給水配管のフラッシングを行う。
設置時、暖房シーズンの始めは、同時に給水ストレーナーの掃除を行ってください。
②給水サービス弁を開ける。
③ヒューミディスタット（湿度調節器）がある場合は希望湿度にセットされていることを確認する。
④室内ユニットの漏電しゃ断器を「入」にして電源を供給する。（運転開始の 5 時間以上前に入れてください）
⑤リモコンの 運転/停止 を押して暖房運転を選択します。

【日常の運転管理】

●運転中は定期的に巡回点検し、配管各部からの水漏れのないこと、そのほか異常のないことを確認してください。なお、異常がある場合は、すぐに運転を停止し**【故障の原因と処置】**（☞ 23 ページ）を参照して対応してください。

【長期休止の場合】

（1）長期休止にあたって

●暖房のシーズンの終わりなど加湿器の運転を長期休止する場合は、以下の作業を行ってください。
①室内ユニットの運転を停止する。
②室内ユニットの漏電しゃ断器を「切」にする。
③給水サービス弁を閉める。
④給水ヘッダーの水抜きを行う。（**【保守点検】（3）作業要領　No-4** 参照）
⑤ 1 時間以上の室内ユニットの送風運転を行い、加湿モジュールを乾燥させる。

（2）長期休止後の運転再開にあたって

●シーズンの始めなど運転を再開時には、所定の保守点検作業が必要になります。**【保守点検】**を参照して、確実に作業を行ってください。

自然気化式加湿器の保守点検について

【保守点検】

⚠ 警告	**部品交換を含む保守点検作業は、取扱説明書に従って正しく行ってください。** 作業に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。 **改造は絶対にしない** 改造すると水漏れや感電、火災等の原因になります。
⚠ 注意	**保守点検は必ず運転を停止して、漏電しゃ断器を切る** 感電や、内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になることがあります。

（1）作業の前に

- 加湿器の機能を維持し正常に運転させるためには、定期的な保守点検作業が必要となります。必ず実施してください。
- 作業にあたっては、安全に十分ご配慮ください。
- 工具類は適正サイズのものを使用し、締めすぎ、締め不足にご注意ください。
- 部品交換の際は必ず純正部品をご使用ください。

（2）保守点検項目

- 下表の作業項目の No.1 ～ 4 は、次ページ以降の **（3）作業要領**の **No-1 ～ 4** と合致しています。

No.	作業項目	作業時期	必要工具など
1	給水配管のフラッシング	設置時、暖房シーズンの始め、および1週間以上の運転休止後の運転開始時	モンキーレンチ（125㎜程度）、トルクレンチ、バケツ、ウエスなど
2	給水ストレーナー掃除	設置時および暖房シーズンの始めの運転開始前（汚れの状況により周期を早める）	モンキーレンチ（125㎜程度）、トルクレンチ、バケツ、ウエスなど
3	加湿モジュールの洗浄 給水ヘッダーのノズル掃除	暖房シーズンの始め （汚れの状況により周期を早める）	プラスドライバー、ニッパー、マイナスドライバー、モンキーレンチ（125㎜程度）、トルクレンチ、バケツ、ウエスなど 洗浄剤（家庭用酸素系漂白剤） 洗浄用容器（加湿モジュールが入るもの）、結束バンド
4	給水ヘッダーの水抜き	暖房シーズンの終り	プラスドライバー、マイナスドライバー、モンキーレンチ（125㎜程度）、トルクレンチ、バケツ、ウエスなど

◆加湿モジュールの洗浄について

加湿モジュールは、使用によって汚れが堆積するため、定期的な洗浄が必要です。汚れの量は、水質や運転環境のさまざまな要因によって変化しますが、水道法水質基準に準じている場合でも、全硬度、シリカ成分量などが多ければ、それだけ汚れ（スケール成分の析出）量も多くなる可能性があります。加湿器は定期的に監視し、汚れの質や量に応じた洗浄方法、洗浄サイクルを定めてください。

◆加湿モジュールの交換周期について

加湿モジュールの交換周期は、加湿器の設置環境や運転状況、洗浄作業の頻度などにより左右されますが、一般空調（暖房期の加湿運転、年間運転時間：1,000 時間）においては 3 年を目やすとします。

（3）作業要領

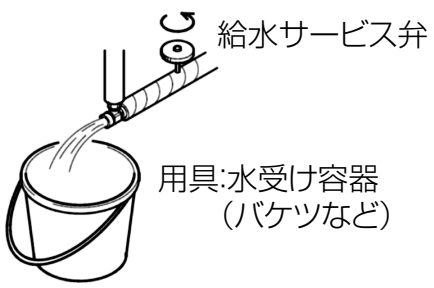
No-1 給水配管のフラッシング
作業時期：設置時、暖房シーズンの始め、および 1 週間以上運転休止後の運転開始前

①現場配管の状況に応じた方法で、給水配管のフラッシングを実施します。給水がきれいになるまで十分に放水してください。

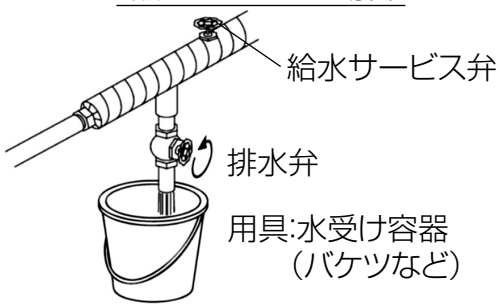
（注）バルブ類を開ける際は、漏水しないことを確認しながら作業してください。
また作業後にも、漏水のチェックは確実に行ってください。

■保温材をはずすときは、作業後に保温材を元に戻すことを配慮して行ってください。
■給水圧が高い場合やエアーが入っている場合など、水が勢いよく噴出すことがありますのでご注意ください。

給水ストレーナーから
フラッシングする場合



給水配管に排水弁が
設けられている場合

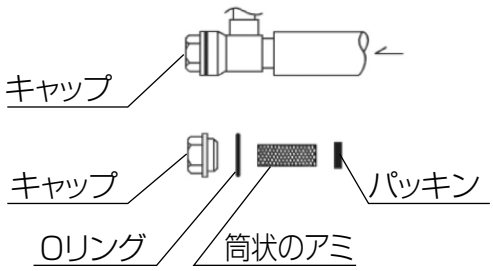


自然気化式加湿器の保守点検について

No-2 給水ストレーナーの掃除
作業時期： 設置後運転初期（運転開始後１～２日目）および暖房シーズンの始めの運転開始前（汚れの状況により周期を早める）

■ご用意いただくもの：モンキーレンチ（125㎜程度）、トルクレンチ、バケツ、ウエスなど。

①室内ユニットの運転を停止し、漏電しゃ断器を切ってください。給水サービス弁を閉め（閉止を確認し）、保温材をはずして、給水ストレーナーのキャップをはずします。排水弁が設置されている場合は、バルブを開けて水を抜いてください。残り水が出ますのでご注意ください。
②給水ストレーナー内部のＯリング・筒状のアミ・パッキンを取り出し、筒状のアミは、きれいに掃除して水洗いします。
（下図参照）



③アミをはずしたまま給水サービス弁を徐々に開けて放水します。水がきれいになるまで十分に放水してください。
④給水バルブを閉めた後、元どおり給水ストレーナーのＯリング・アミ・パッキンを取り付けてキャップを締め込みます。
キャップ締付トルク：５～ 10N･m

■キャップのＯリングが切れていないことを確認してください。切れている場合は新しいものと交換してください。

⑤給水サービス弁を開けて通水し、水漏れがないことを確認します。
⑥保温材を元に戻します。

（注）暖房シーズンの終わりには、給水サービス弁を閉めてください。

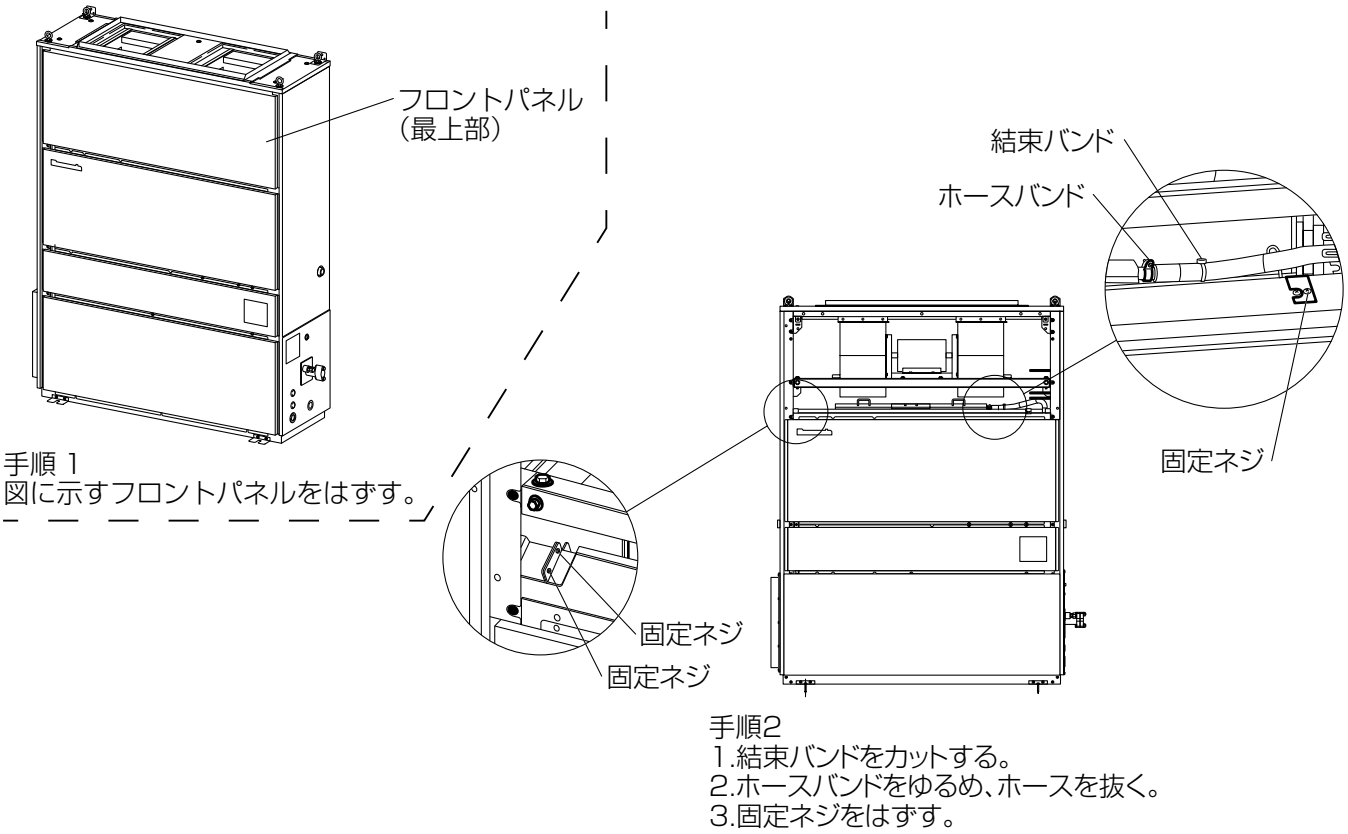
No-3 加湿モジュール洗浄 / 給水ヘッダーのノズルの掃除
作業時期：暖房シーズンの始め（汚れの状況より周期を早める）

■加湿モジュールは運転時間の経過にともなって徐々に汚れが付着します。また、給水中のスケール成分が析出することがあります。汚れ具合や加湿状況に応じて適宜洗浄を実施してください。
■加湿モジュールの表面にスケールが析出している場合は、新しい加湿モジュールと交換が必要ですので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
■変形や劣化がいちじるしい場合には、新しい加湿モジュールと交換が必要ですので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
■ご用意いただくもの：プラスドライバー、ニッパー、マイナスドライバー、モンキーレンチ（125mm 程度）、バケツ、ウエスなど吸水性のあるもの、結束バンド、洗浄剤（家庭用酸素系漂白剤）、洗浄用容器（大きさは**表 1** を参考にご用意ください。）

表1　加湿モジュールの寸法（mm）

	長さ	高さ	幅
140形	400	335	35
224形	600	335	35
280形	800	335	35

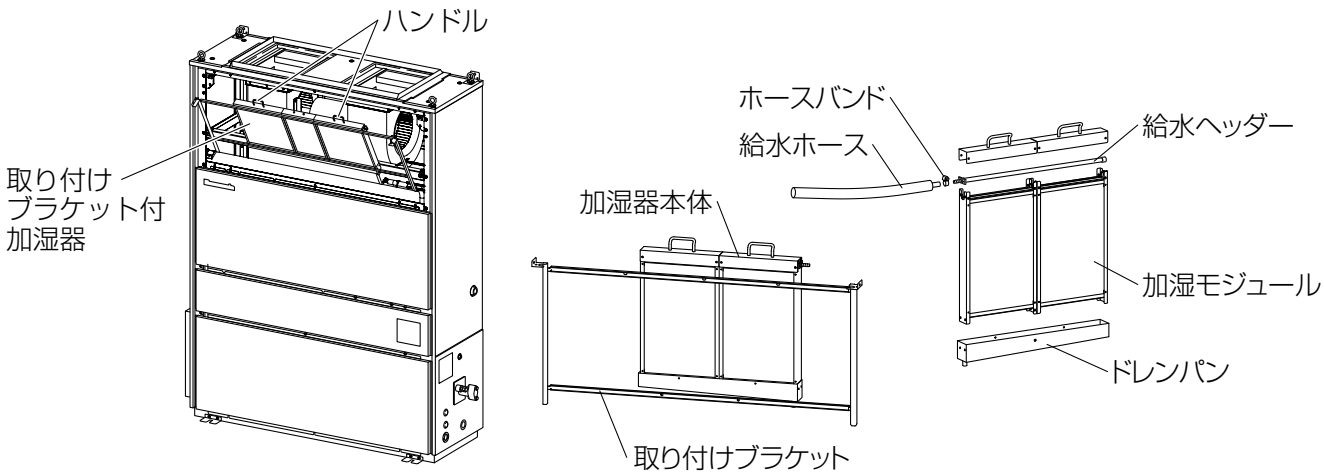
①室内ユニットの運転を停止し、漏電しゃ断器を切ってください。
②給水サービス弁を閉めます。(閉まっていることを確認します)。
③ネジをはずし、最上部のフロントパネルをはずす。



④結束バンドをニッパーで切り取り除く。
⑤給水ホースの加湿器本体側のホースバンドをゆるめて給水ホースをはずし、本体内蔵の給水ヘッダー内、および給水ホースに残っている水を抜きます。
（注）給水ホースは、給水ホース口に固着して抜きづらいことがあります。すこしずつゆっくりと抜いてください。
無理に力を入れると故障の原因となります。
（注）残水がでてきますのでご注意ください。

自然気化式加湿器の保守点検について

⑥室内ユニット本体と固定している左右のネジをドライバーではずす。（固定ネジは機種によって本数が異なります。）
⑦取り付けブラケット付き加湿器のハンドルを持って引き上げ、室内ユニットからはずす。



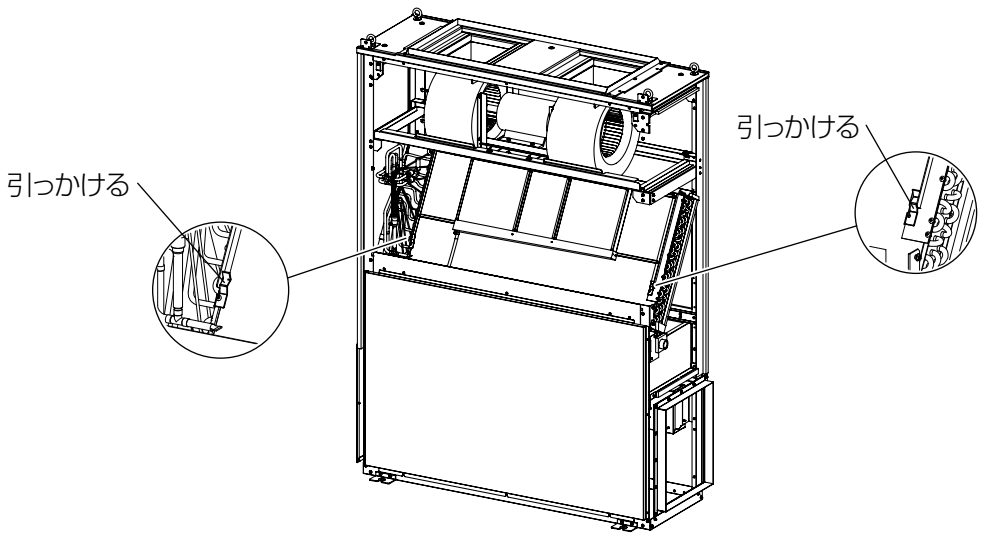
手順３
取り付けブラケット付加湿器を引き出す。
※引き出す際、熱交換器のフィン・配管を傷つけないように注意してください。

⑧加湿器本体から取り付けブラケットを取りはずし、加湿器本体の上部ケース給水ヘッダー、ドレンパンをはずします。
（注）加湿器モジュールを構成しているステンレスケースは、絶対に分解しないでください。分解すると復旧できなくなります。
（注）洗浄中に空調機を運転する必要がある場合には、加湿器の給水サービス弁が閉まっていることを必ず確認してください。
⑨洗浄剤として、市販の「酸素系漂白剤」を用意ください。

⚠ **警告**	**加湿モジュールの洗浄に、塩素系漂白剤は絶対に使用しないでください。** 洗浄剤の取扱は、洗浄剤の容器に記載されている注意事項を必ず守ってください。

⑩加湿モジュールはブロック化されています。洗浄用水槽として、個々の加湿モジュールが十分に入る大きさのものをご用意ください。
⑪洗浄用水槽に洗浄液を作ります。洗浄剤の容器に記載の使用方法、注意事項にしたがって、シミ抜き程度の濃さの水溶液とし、加湿モジュールが十分に浸る量をご用意ください。
⑫加湿モジュールを洗浄液に 30 分から 1 時間「つけ置き」にします。
⑬つけ置きしたら加湿モジュールを取り出して十分に水流にて水洗いを行い完全に乾燥させます。
■ブラシ等でのこすり洗いや水・空気などによる高圧洗浄は絶対にしないでください。加湿材が破損します。
■水洗いは十分に行なってください。不十分であると再使用時に室内ユニットの通風により泡が発生し、水滴飛散の原因になることがあります。
■加湿モジュールは完全に乾燥させてください。乾燥が不十分の場合、設置環境によっては、運転開始後、臭気などが発生する原因になることがあります。

⑭取りはずした給水ヘッダーのノズル (細管) の先端をブラシやウエス等で丹念に掃除し、スケールなどの汚れを取りのぞきます。
⑮取りはずしした加湿器ドレンパン内部をウエスなどで掃除し、排水口にゴミや異物があれば取り除いてください。
⑯元通り加湿モジュールに給水ヘッダー、ドレンパン、上部ケースを組み立てて、取り付けブラケットにネジで取り付ける。取り付けブラケット付き加湿器のハンドルを持って、室内ユニットに挿入。室内ユニットに取り付けます。
挿入後、固定用の引っ掛けに挿入されているか確認ください。



<取り付けブラケット付加湿器取付時の注意>
熱交換器の左右に取り付けブラケット付加湿器の下部固定のための引っ掛けがあります。
取り付けの際は、取り付けブラケット付加湿器の下側が確実に引っかかっていることを
確認してください。

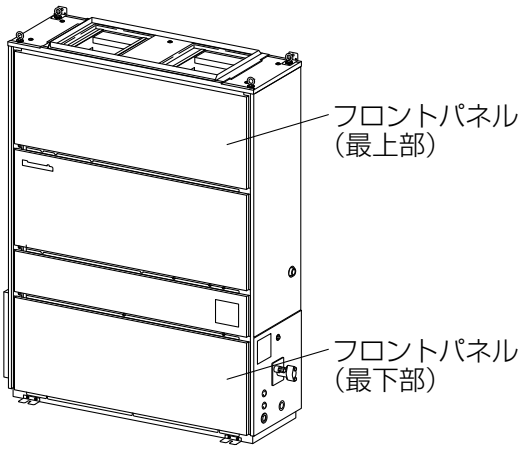
⑰固定ネジの取り付けと給水ホースの接続、用意していただいた結束バンドを取り付け、元に戻します。
■給水ホースの接続は、ホースバンド (締め付けトルク：1.5N・m) で固定してください。
■洗浄後すぐに加湿モジュールの取り付けを行わない場合には、加湿モジュールを完全に乾燥させた状態で保管してください。
⑱パネルをはずしたネジで取り付けてください。

自然気化式加湿器の保守点検について

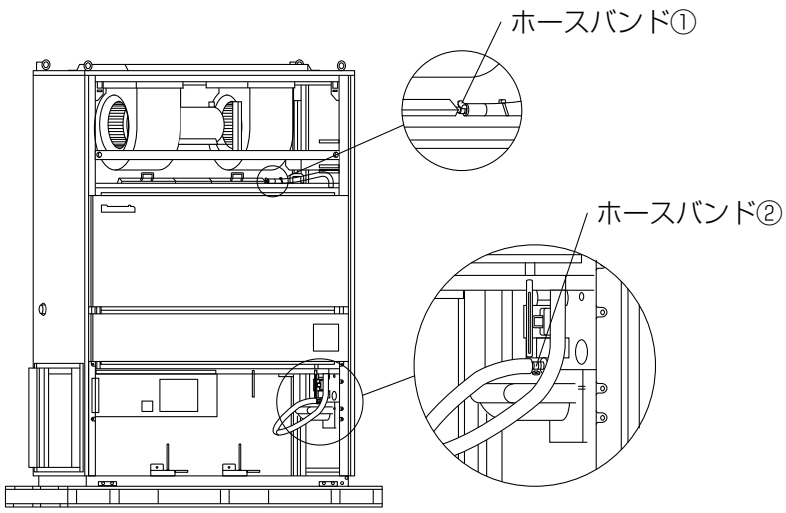
No-4 給水ヘッダーの水抜き
作業時期：暖房シーズンの終り

■ ご用意いただくもの：プラスドライバー、マイナスドライバー、モンキーレンチ（125㎜ 程度）、トルクレンチ、バケツ、ウエスなど

①加湿器が組み込まれている室内ユニットの運転を停止し漏電しゃ断器を切ってください。
②給水サービス弁を閉めます。
③ネジをはずして最上部と最下部のフロントパネルをはずします。



手順 1
1. 最上部フロントパネルをはずす。
2. 最下部フロントパネルをはずす。
※最下部フロントパネル下側は
ネジを緩めるだけでも可。



手順 2
1. ホースバンド 2 か所をゆるめ、ホースを抜く。
2. ホース内の水抜きを行う。

④給水ホースのホースバンド 2 か所 (給水ヘッダー側、給水ユニット側) を緩めて給水ホースをはずし、給水ヘッダー及び給水ホースの残水を抜きます。
（注）給水ホースは、給水ホース口に固着して抜きづらいことがあります。すこしずつゆっくりと抜いてください。
無理に力を入れると故障の原因となります。
⑤元通り給水ホースを接続してホースバンド (締付けトルク :1.5N・m) で固定します。
⑥最上部と最下部のフロントパネルをはずしたネジで取り付けてください。
⑦加湿モジュールが濡れているときは、加湿器を停止したまま 1 時間程度の空調機アフターラン（送風運転）を行い、加湿モジュールを乾燥させてください。

【故障の原因と処置】

（1）故障と思われる前に

● 正常な動作を行わない場合でも、必ずしも故障が発生しているとは限りません。故障のチェックを行う前に、まず、以下の項目をチェックしてください。
- □ 加湿器への電源が供給されていること
- □ ヒューミディスタット（湿度調節器）がある場合は、この設定が希望湿度にセットされていること
- □ 室内ユニットが運転していること
- □ 給水サービス弁が開いていること
- □ 断水していないこと

● それでも復旧しない場合には、次ページを参照してチェックおよび処置を行ってください。

（2）故障のチェックと処置

- 下記の一覧表を参照して、故障のチェックと処置を行ってください。
- 表内で○印の原因に該当する場合には、「保証とアフターサービス」（☞28 ページ）をご覧いただきお問い合わせください。

（3）故障時の作業が終わったら

- 故障のチェックとその処置が終わったら必ず運転確認を行い、正常な動作および配管各部からの水漏れのないことを確認してください。
- 不都合な点があれば必ず修正し、なおも正常な動作を行わない場合はお問い合わせください。

故障時のチェックと処置一覧表

状態	故障原因			処置
①運転しない	給水系統		給水サービス弁が閉まっている	弁を開ける
			給水ストレーナー目詰まり	ストレーナーを掃除する
			断水している	確認する
		○	電磁弁不起動	「保証とアフターサービス」へ（☞28ページ）
	電源系統		正しい電源が供給されていない	確認し修正する
			漏電しゃ断器が「切」	「入」にする
			ヒューミディスタット「切」　※1	設定値を確認する
			ヒューミディスタット不良　※1	ヒューミディスタット交換
②加湿量不足	給水系統		給水ストレーナー目詰まり	ストレーナーを掃除する
			給水ヘッダー目詰まり	給水ヘッダーを掃除する
			給水圧力が弱い	確認し修正する
		○	電磁弁、減圧弁不良	「保証とアフターサービス」へ（☞28ページ）
	加湿器本体		汚れやスケールにより加湿量が低下している	加湿モジュール洗浄または交換
③漏水	給水系統	○	減圧弁不良による過剰給水で水滴飛散する	「保証とアフターサービス」へ（☞28ページ）
			給水配管、給水ホース各接続部からの水漏れ	修正する
	排水系統		ドレン口の詰まり	ドレンパンを掃除する
			ドレン配管の施工不良	確認し修正する
	空調機系統		加湿器通過風速が高すぎて水滴飛散する	確認し修正する
			汚れやスケールにより加湿モジュールから水滴飛散する	加湿モジュール洗浄または交換
	その他		加湿モジュール洗浄後の水洗い不足による水滴飛散	加湿モジュール水洗い
④異臭	給水系統		加湿モジュールが汚れている	加湿モジュール洗浄または交換 給水ストレーナー、給水ヘッダーを洗浄する 給水配管のフラッシングをする
	排水系統		ドレンパン上に水が滞留している	ドレンパンを掃除する
			ドレン配管からの異臭	ドレン水排出場所の変更
	その他		流通空気の汚れに伴う加湿モジュールの汚れ	使用条件の見直し 加湿モジュール洗浄または交換

※1 ヒューミディスタットが設置されている場合

故障かな？

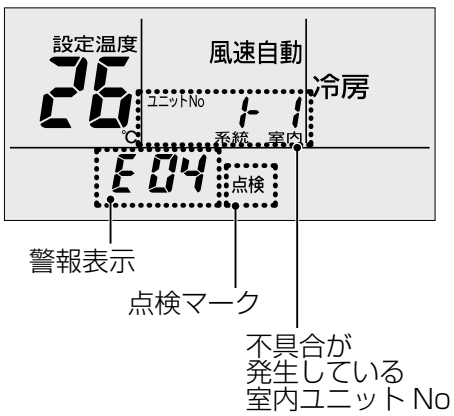
お問い合わせや修理を依頼される前に、まずご確認ください。

	症状		原因・対応	ページ
室内ユニット	運転しない		●漏電しゃ断器が切れていませんか？ →漏電しゃ断器が「切」の場合は「入」にしてください。 →漏電しゃ断器がトリップ位置（中間で止まっている）の場合は、電源を入れずに販売店にご連絡ください。	—
	よく冷えない よく暖まらない		●室内・室外ユニットの吸込口や吹出口のまわりを障害物でふさいでいませんか？ →障害物を取り除いてください。	—
			●エアフィルターが目づまりしていませんか？ →エアフィルターを掃除してください。	12
	音がする	水が流れるような音がする	●エアコン内部に冷媒が流れている音です。	—
		「ピシピシ」という音がする	●部品が温度変化により伸縮するためです。	—
	吹き出した風がにおう		●部屋のにおいやタバコ、化粧品などがエアコン内部に付着し、吹き出すためです。 →お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	冷房運転中、吹出口付近に露がつく		●空気中の水分が冷風で冷やされ、付着するためです。	—
	霧が出る	冷房運転中、白い霧が出る	●特に飲食店等、油類を多く使用する場所に取り付けられている場合は、室内ユニット内部が汚れているためです。 →お買い上げの販売店にご相談ください。	—
		暖房運転中、白い霧が出る	●霜取運転中に、まれに室内ユニットから白い霧が出ることがあります。	—
	運転停止後もファンが止まらず回り続ける		●室内ユニット内部（熱交換器）を乾燥させるため、しばらく回り続けることがあります。	—
室外ユニット	運転停止後、すぐに運転 / 停止ボタンを押しても再運転しない		●圧縮機を保護する回路が働き、約 3 分間は運転しません。	—
	暖房運転中、「ブシュン」という音がする		●霜取運転を行っているためです。	25
	暖房運転中、湯気が出る		●霜取運転を行っているためです。	25
	リモコンで運転停止後もファンが回り続ける		●円滑に運転を行うための動作です。	—

運転のしくみ

●左記の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは運転を停止してから漏電しゃ断器を切り、お買い上げの販売店に品番と症状をご連絡ください。

リモコン表示部に点検マークと警報表示（E、F、H、L、P の文字と数字の組み合わせ）が表示されたときは、その内容をご連絡ください。



■暖房能力について

- 外気の熱を利用して暖房するため、外気温度が下がるにつれ暖房能力は低下します。（ヒートポンプ方式のため）
- 暖房運転開始から暖まるまでしばらく時間がかかります。（部屋全体を暖める温風循環方式のため）

■霜取りについて

長時間の暖房運転時、室外ユニットに付いた霜を溶かすために暖房を止めて（または微風運転になり）霜取り運転する場合があります。（約 5 分～ 10 分間）

■暖房準備について

以下の場合、エアコンは内部が暖まるまで、風速設定に関係なく微風運転を行います。このとき、リモコン表示部に「暖房準備」が表示されます。

- 運転開始時　・温度調節器が働いたとき
- 霜取り時

■暖房運転開始時は（冷暖フリービル用マルチのみ）

停止または冷房運転から暖房運転に切り換えた場合、本体保護のため約3分間は運転しません。
また運転開始後は、暖かい風が出るまでに約5分～10分程度、時間がかかる場合があります。

■オイル回収について

冷房・暖房運転中、1 ～ 3 時間ごとにシステム内のオイルを回収するため、室内ファンが停止または微風運転になることがあります。約 5 ～ 10 分で元の運転に戻ります。

仕様

■運転条件

冷房時	外気の温度　-10℃以上 43℃ [46℃] 以下 部屋の温度　18℃以上 32℃以下 [14℃以上 25℃以下　湿球温度] 部屋の湿度　約 80%以下
暖房時	外気の温度　-25℃ (-20℃) 以上 15℃ [18℃] 以下 (湿球温度) 部屋の温度　30℃以下

- 左記以外の条件で長時間運転すると、保護装置が働き、運転停止や故障の原因になります。
- ( ) 内の数値は以下の室外ユニットの暖房運転条件です。
  氷蓄熱ビル用マルチ UK シリーズ
  冷暖フリービル用マルチ UXE シリーズ
- [ ] 内の数値は、以下の室外ユニットの運転条件です。
  標準ビル用マルチ CU-UX4 シリーズ
- ユニット保護のため、寒冷地では別売品の防雪ダクトと風向チャンバーを必ず装着してください。

室内ユニット

種類 —— 冷房・ヒートポンプ暖房兼用、分離形、空冷式（冷媒 R410A 使用 ）

●壁ビルトイン形（ダクト接続形）

品番		能力 (kW) 冷房	暖房	暖房低温	運転音 dB(A)	製品質量 (kg)
CS−	P140W4U	14.0	14.0	10.9	48	142
	P140WN4U					139
	P224W4U	22.4	22.4	17.5	49 / 50	189
	P224WN4U					185
	P280W4U	28.0	28.0	21.8	55	225
	P280WN4U					220

• この仕様値は JIS B8616 パッケージエアコンに基づいた数値です。
• 運転音は冷房・暖房共通です。表中／で示されている数値は左が 50Hz、右が 60Hz の数値で、その他は 50Hz、60Hz 共通です。

室外ユニット

種類 —— 冷房・ヒートポンプ暖房兼用、分離形、空冷式（冷媒 R410A 使用）

●標準ビル用マルチ UX シリーズ

品番		能力（kW）			運転音 dB（A）	製品質量 (kg)	冷媒封入量 (kg)	二酸化炭素換算値 (t)
		冷房	暖房	暖房低温				
CU－	P224UX3	22.4	25.0	20.7	56.5	229	7.0	14.6
	P280UX3	28.0	31.5	27.7	59.0	282	7.0	14.6
	P335UX3	33.5	37.5	32.9	61.0	282	7.0	14.6
	P400UX3	40.0	45.0	37.5	62.0	311	9.0	18.8
	P450UX3	45.0	50.0	40.7	62.0	311	9.0	18.8
	P500UX3	50.0	56.0	49.3	60.0	428	9.9	20.7
	P560UX3	56.0	63.0	55.4	63.0	428	9.9	20.7

品番		能力（kW）			運転音 dB（A）	製品質量 (kg)	冷媒封入量 (kg)	二酸化炭素換算値 (t)
		冷房	暖房	暖房低温				
CU－	P224UX4	22.4	25.0	19.4	56.0	250	9.5	19.9
	P280UX4	28.0	31.5	22.9	59.0	250	9.5	19.9
	P335UX4	33.5	37.5	27.3	60.0	308	8.3	17.3
	P400UX4	40.0	45.0	32.7	61.0	335	8.7	18.2
	P450UX4	45.0	50.0	37.9	61.0	337	11.9	24.9

●高効率ビル用マルチ UXP シリーズ

品番		能力（kW）			運転音 dB（A）	製品質量 (kg)	冷媒封入量 (kg)	二酸化炭素換算値 (t)
		冷房	暖房	暖房低温				
CU－	P335UXP3	33.5	37.5	33.0	60.0	311	9.0	18.8
	P400UXP3	40.0	45.0	39.6	59.0	374	9.9	20.7
	P450UXP3	45.0	50.0	41.3	60.0	374	9.9	20.7

●既設配管対応ビル用マルチ UXR シリーズ

品番		能力（kW）			運転音 dB（A）	製品質量 (kg)	冷媒封入量 (kg)	二酸化炭素換算値 (t)
		冷房	暖房	暖房低温				
CU－	P224UXR3(N)	22.4	25.0	20.7	56.5	231	7.0	14.6
	P280UXR3(N)	28.0	31.5	27.7	59.0	284	7.0	14.6
	P335UXR3(N)	33.5	37.5	32.9	61.0	284	7.0	14.6
	P400UXR3(N)	40.0	45.0	37.5	62.0	313	9.0	18.8
	P450UXR3(N)	45.0	50.0	40.7	62.0	313	9.0	18.8

●氷蓄熱ビル用マルチ UK シリーズ

品番		冷房能力（kW）		暖房能力（kW）		運転音 dB（A）	製品質量 (kg)	冷媒封入量 (kg)	二酸化炭素換算値 (t)
		蓄熱利用	蓄熱非利用	標準	低温				
CU－	P224UK3	28.0	22.4	25.0	19.4	54.5	260	13.0	27.2
	P280UK3	35.5	28.0	31.5	27.7	55.0	310	13.0	27.2
	P335UK3	40.0	33.5	37.5	32.0/33.0	56.0	310	14.0	29.3
	P400UK3	45.0	40.0	45.0	39.6	60.0	360	14.0	29.3
	P450UK3	50.0	45.0	50.0	44.0	61.0	360	14.0	29.3

●冷暖フリービル用マルチ UXE シリーズ

品番		能力（kW）			運転音 dB（A）	製品質量 (kg)	冷媒封入量 (kg)	二酸化炭素換算値 (t)
		冷房	暖房	暖房低温				
CU－	P224UXE3	22.4	25.0	22.0	54.5	280	12.0	25.1
	P280UXE3	28.0	31.5	27.7	55.0	280	12.0	25.1
	P335UXE3	33.5	37.5	29.9	56.0	280	12.0	25.1
	P400UXE3	40.0	45.0	39.6	60.0	340	15.0	31.4
	P450UXE3	45.0	50.0	44.0	61.0	340	15.0	31.4

- この仕様値は JIS B8616 パッケージエアコンに基づいた数値です。
- 表中／で示されている数値は左が 50Hz、右が 60Hz の数値で、その他は 50Hz、60Hz 共通です。
- 室外ユニット品番名末尾に E が付く場合は耐塩害仕様、J が付く場合は耐重塩害仕様を示します。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げ先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「故障かな？」（24 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず漏電しゃ断器を「切」にし、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	パッケージエアコン
●品 番	○○ - ○○○○（仕様参照）
●異常の内容	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。 保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代 部品および補助材料代
- 出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 9年

当社は、このパッケージエアコンの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後9年保有しています。

■相談先がなくお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●機器に関する使い方・お手入れなどのご相談・お問い合わせは･･･

商品相談窓口　空調110番

ナビダイヤル **0570-087-911**（有料）
上記番号がご利用いただけない場合は 0276-20-0645
※お電話をいただく際には、番号を十分にお確かめの上、おかけまちがいのないようにお願いいたします。

<営業時間> 24時間365日受付
<対応事務> 機器に関するご相談・お問い合わせ
FAX **0276-20-0222**

●修理に関するご相談は･･･

設備工事会社および設備販売代理店にてご購入されたお客様へ

パナソニック 空調修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-087-956**（パナくうちょうこーる）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

24時間 365日 受付

●沖縄地区のお客様は、☎（098）868-0242 に直接おかけください。

電気家電店および電気量販店にてご購入のお客様へ

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

メモ

メモ

ご確認ください

■ 試運転・引き渡し時の確認

	会社名	担当者名	実施日
据え付け工事			/
試運転チェック			/
お客様への取扱説明			/

■ 定期点検整備契約のおすすめ

常に最良の運転状態を維持するためには、シーズン前後の点検整備が必要です。契約されるだけで需要家様に代わり専門家が設備全体を定期的に点検整備する「定期点検整備契約」への加入をお勧めいたします。「定期点検整備契約」の詳細については、お買い上げの販売店または、工事店にご相談ください。

契約会社	TEL（　）		
契約日		担当者名	
点検日 1			
点検日 2			

■ 機器廃棄時の扱いについて

- この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。
- 廃棄またはリサイクルする場合、また移動·再設置するときに冷媒回収が必要な場合は、法に基づく冷媒の回収·運搬・破壊・書面管理を行ってください。

●機器に関する使い方・お手入れなどのご相談・お問い合わせは･･･

商品相談窓口　空調110番

ナビダイヤル **0570-087-911**（有料）
上記番号がご利用いただけない場合は 0276-20-0645
※お電話をいただく際には、番号を十分にお確かめの上、おかけまちがいのないようにお願いいたします。

＜営業時間＞ 24時間365日受付
＜対応事務＞ 機器に関するご相談・お問い合わせ
FAX **0276-20-0222**

●修理に関するご相談は･･･

設備工事会社および設備販売代理店にてご購入されたお客様へ

パナソニック 空調修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-087-956**（パナくうちょうこーる）
携帯・PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

24時間 365日 受付

●沖縄地区のお客様は、☎（098）868-0242 に直接おかけください。

電気家電店および電気量販店にてご購入のお客様へ

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**
携帯・PHS OK ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

パナソニック株式会社　エアコン事業部
〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田 1 丁目 1 番 1 号
© Panasonic Corporation 2013
85464609253001
BE0413-10613